



みとよ DE ネットウォーク

喜田道先生と行く「ええとこ」歩き

「喜田道 帰(きた)みち かえる(先生)と生徒の「歩(あゆむ)君」
「美歩(みほ)ちゃん」が、「駅からウォーク」で歩いた「ええとこ」を毎月皆さんに紹介しています。

第4回目は、宝光寺、たからだの里、鮎返りの滝など財田地区を紹介します。

秋に開催したコースですが、鮎返りの滝の清涼感や大パノラマの林道など、暑い夏にもバッチリ対応できる行程です。もちろん四季を通して楽しめますよ。

皆さん、こんにちは。この特集も好評いただいているみたいですね。

今回は、昨年11月17日に開催した『たからだの里「秋の収穫祭」と紅葉の室町風庭園「宝光寺」鑑賞ウォーク』を紹介しましょう。



財田の駅は、丘の上にあつて見晴らし最高。

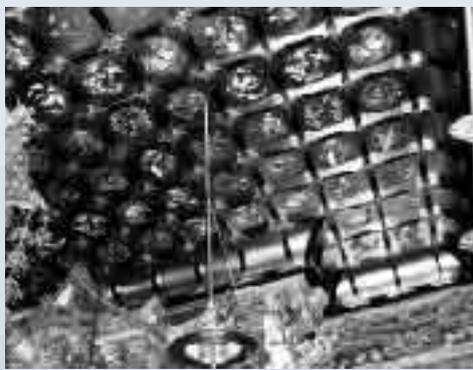
空気も澄んでいて気持ちよかつた。

集合場所のJR 讃岐財田駅は、土讃線にある徳島県との県境の駅。停車列車も少なく、のんびりした自然の中にあります。ふだんは利用者も少ないのですが、この日は集合時間にホームいっぱい、84人も参加者が来てくれました。

駅前にあるタブの木の下から元気に出発。

家も少ない駅前の下り道、正面に大きくて立派なお寺が3つもあつたよ。

坂道を10分程歩くと、大きなお寺「宝光寺」に到着。ここは、広い境内と大きな本堂も立派だが、室町庭園が特にお勧めなんだよ。
すごい、歩道や橋もあつたよ。
まるで、テレビで見た京都のお庭に行ったみたい。
ご住職さんから説明があつた本堂の天井に描かれたお浄土(鳥や花)の絵もきれいだったね。



宝光寺本堂の天井

お寺を出発して、しばらく財田の里山風景が楽しめる田園の中をのんびり歩いて、戸川ダム公園にある大久保謙之丞碑()の前に到着。



大久保謙之丞碑

市役所の大西さんから説明があつたね。
横山市長も駆けつけてくれて、歓迎のあいさつをしてくれました。
大久保謙之丞は、瀬戸大橋を

掛けることを提唱したり、道路整備に尽力を注いだすばらしい人だったそうだよ。

瀬戸大橋の生みの親なんだね。

そこから道を登って10分程渓谷を歩くと、鮎返りの滝()に突き当たりました。

きれいな水が流れていたね。



鮎返りの滝

県下最大級の産直「たからだの里」に到着。ここでお弁当タイム。みんなは早めにお弁当をすませて、イベントや新鮮な産直でショッピングを楽しんで

いたね。秋には収穫祭（夏（7月）には旬の味フェアなど、毎月の第3土曜日には、イベントを行っているそうだよ。



収穫祭イベント

チンドン屋がいたよ。変な顔してて、おもしろかった。

私は、この手づくりアイス（を食するのが楽しみだった。早速ゲット。おいしかった。季節によっていろいろなアイスが楽しめるよ。



8月は、ももアイスがおすすめだよ。ウオークにアイスはベストマッチングでした。だから、他に温泉施設もあるそうだよ。



林道からの眺望

国道32号から左に折れて新しく出来た林道を上ると、箆蔵街道と合流している地点まで開通していたね。帰りの列車が気になって、休憩も取らずに一気に上ったのでかなりきつかったけど、景色は最高（だったね。

いっしょに歩いたおじさんは、産直で果物をいっぱい買っていたよ。アイスも食べて、元気を出して出発。



道の駅たからだの里さいた

戸川ダム公園の大久保護之丞碑

道の駅

戸川

鮎返りの滝

もう駄目かと思ったけど、がんばったよ。

ここからは、昔の箆蔵街道（を財田駅まで降りるんだ。山道なので足元に気をつけないとね。



箆蔵街道

つん。落ち葉もあってすべるし、気をつけて歩いたね。

昔の人は、荷物を担いで、こんな山道を行き来していたんだね。相当、足腰が強かったんだろうね。

車も無かったんだね。

そうなんだ。

みんななんとか間に合って、予定通り財田駅に到着しました。

少し疲れたけど面白いコースだったよ。

いつもはお客さんがあまり乗らない財田駅のホームに、たくさんのお客さんがいる光景は夢みたい。入ってきた列車の車掌さんが、うれしそうに微笑んだように見えたのは、私だけかな？

地元のイベント

佐長 光祥さんからのメッセージ

宝光寺の庭園は、秋の紅葉が特に美しいと言われていますが、四季折々の表情でお迎えます。また、山の幸、野の幸に恵まれた財田には、県下最大級の産直市場「たからだの里」もあります。自然あふれる財田に、ぜひお越しください。

アクセス 今回のコース

行き
三豊各地からコミュニティバスでJR讃岐財田駅までお越しください。

財田観音寺線がJR讃岐財田駅まで来ます。

帰り
JR讃岐財田駅からコミュニティバスでお帰りください。
JR讃岐財田駅バス停からは、財田観音寺線が出ます。

本文を参考に仲間や家族と一緒に思いのウオークを楽しんでください。

問い合わせ
商工観光課 62・11129